

# 健康便り

令和4年11月  
No 553

## 「公民館まつり」

会長 水口 美智子

木の葉が美しく紅葉はじめました。半田山植物園には多数の方の散策している姿を見かけます。コロナ禍の中、御野学区にある北公民館で使用率も減少している中にも、九月は親子クラブより9組の親子、特に父親と一緒に参加し保健師さんと共に体操したりしての楽しい一時を過ごしました。

十月二十九日・三十日に行われた公民館まつりには、四百人の人出でにぎわっていました。

さ・さりげなく  
し・しからない  
す・すみやすい環境へ  
せ・せつとくよりなつとく納得  
そ・そんけいの気持ち

・明日が来ると思つより 明日を味方と思つて生きていく  
人はそれだけれど そう考えると物の見方が変わる  
ような気がする 道は自分でひらく  
人の冷たさに負けそうになるけれど  
やつぱり優しさにはかなわない

\*さんさん育児相談 十一月十九日(月) 十二時三十分

場所 岡山市立北公民館  
親子手帳 パスタオル持参 要予約

## 「無題」

四プロック 愛育委員

今年の夏は暑かつた。ほんとに暑かつた。暑くてまいつた。昨年、後期高齢世代に入つたせいか、体力の衰えをひしひしと感じることが多く、コロナの心配もあり、家の内にじつとこむること多かつた。つれづれに本を読んだ。心に留まりこれから実践を心がけようと思つていることを書き上げてみる。

・歩き続けよう。歩かない歩けなくなる。  
・いらいらしたら深呼吸をしよう。  
・外に出よう。

・肉を食べよう。安い赤身がいい。  
・笑つて(残りの人生を楽しもう)。

笑う向には福来たる。

- ・赤ちゃんを母乳で育て、子育て支援をしましよう。
- ・生活習慣病の予防に努め、健康寿命をのばしましよう。
- ・全ての健康診査(検診)を受けふれあい活動をしましよう。

## 「歌の力」

四プロック 愛育委員

愛育委員九月定例会「音楽のゆりかご」コンサートでのこと。最後の曲「いのちの歌」で、私は思いがけず涙ぐんでしまいました。加齢による涙腺の緩みも否定できませんが、人の心を揺さぶる歌の力を感じました。

百年近く歌い継がれてきた曲から最近のものまで全十六曲。歌には生まれてきた背景がそれあり、その歌にまつわる私たちの想いもさまざまです。しかし、会場にいた皆さんと歌を共有しているという実感がありました。多くの人が、素晴らしく歌声に浸りながら何か(誰か)を想い、心中で一緒に口ずさんでいたのではないでしょうか。

戦後生まれの私が「リンゴの唄」を口ずさむように、令和に

生まれ育つ子たちも「花は咲く」や「いのちの歌」を歌う

だろうかと想像し、幸せなひとときとなりました。

## 「保健師より一言 『冬の感染対策について』」

高見 咲

岡山市の新型コロナウイルス感染者数は、今夏と比べ減少していますが、冬は新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザも流行する時期です。引き続き感染対策をしていきましょう。

感染症を予防するためには、手洗いやつがい、マスクの着用だけでなく、日々の健康を維持することが大切です。適度な睡眠や運動、バランスの良い食事を心がけ、喫煙は避けましょう。空気が乾燥すると感染症にかかりやすくなりますので、特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使つて適度な湿度(五十～六十%)に保つことも効果的です。

また、インフルエンザの発症・重症化防止には、ワクチン接種が有効です。岡山市では、令和四年十月一日～令和四年十一月三十一日まで、高齢者のインフルエンザ予防接種を実施しています。ワクチンは、重症化の予防効果が認められています。助成券・無料券の対象者等、詳細については岡山市ホームページ等にも掲載していますので、是非ご覧ください。

## 問い合わせ先

岡山市保健所健康づくり課  
北区中央保健センター

電話 (086) 803・1265

御野学区愛育委員会  
会長 水口 美智子

岡山市中央保健  
センター

保健師 高見 咲